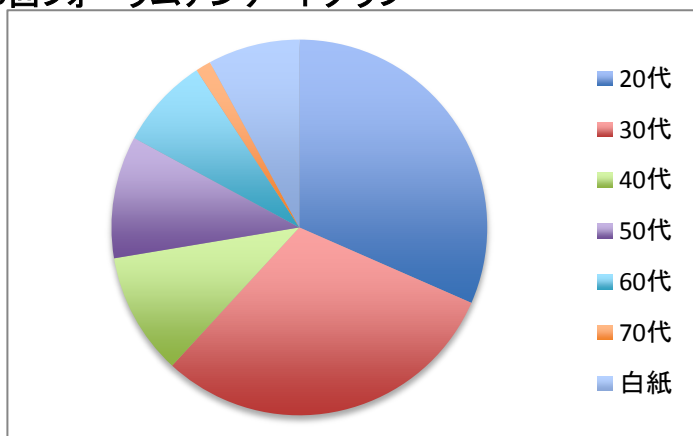
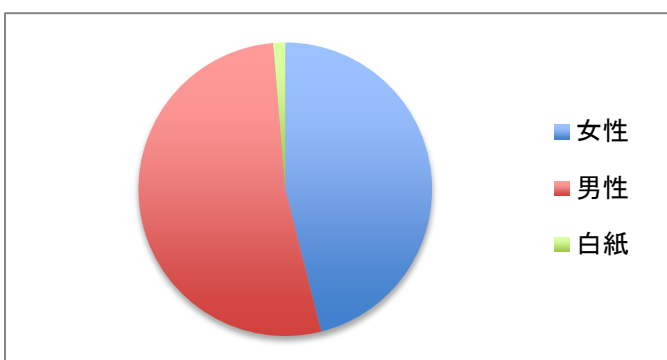


### 第9回フォーラムアンケートグラフ

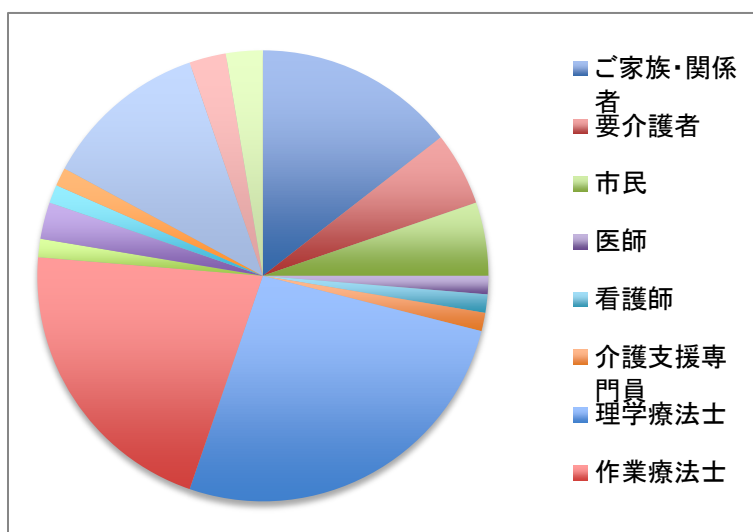
年齢		%
20代	24	31.6
30代	23	30.3
40代	8	10.5
50代	8	10.5
60代	6	7.9
70代	1	1.3
白紙	6	7.9
合計	76	100.0



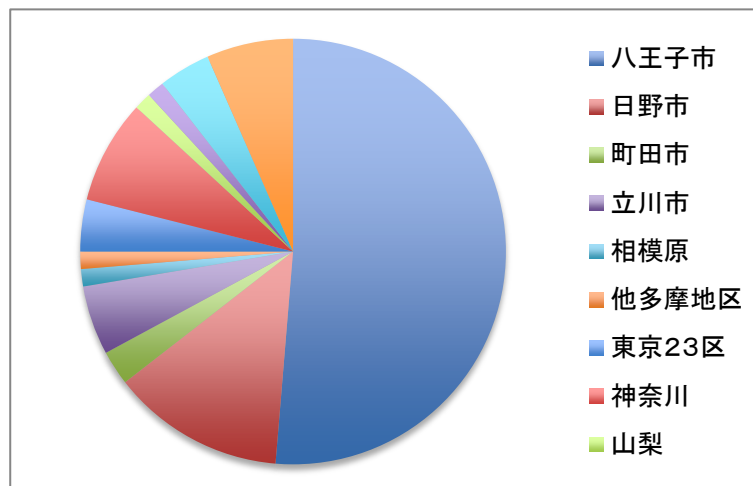
性別		%
女性	35	46.1
男性	40	52.6
白紙	1	1.3
合計	76	100.0



職種		%
ご家族・関係者	11	14.5
要介護者	4	5.3
市民	4	5.3
医師	1	1.3
看護師	1	1.3
介護支援専門員	1	1.3
理学療法士	20	26.3
作業療法士	16	21.1
言語聴覚士	1	1.3
行政関係	2	2.6
MSW	1	1.3
企業・メーカー	1	1.3
学生	9	11.8
その他	2	2.6
白紙	2	2.6
合計	76	100.0

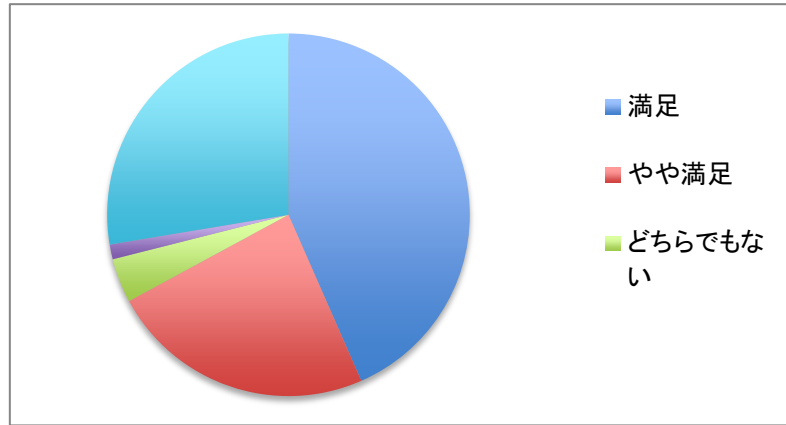


お住まいの市		%
八王子市	39	51.3
日野市	10	13.2
町田市	2	2.6
立川市	4	5.3
相模原	1	1.3
他多摩地区	1	1.3
東京23区	3	3.9
神奈川	6	7.9
山梨	1	1.3
仙台	1	1.3
その他	3	3.9
白紙	5	6.6
合計	76	100.0



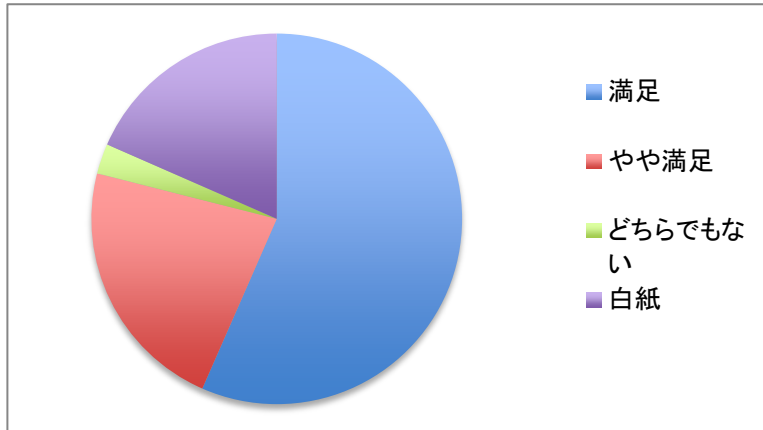
一般演題満足度

満足	33	43.4
やや満足	18	23.7
どちらでもない	3	3.9
やや不満	1	1.3
白紙	21	27.6
合計	76	100.0



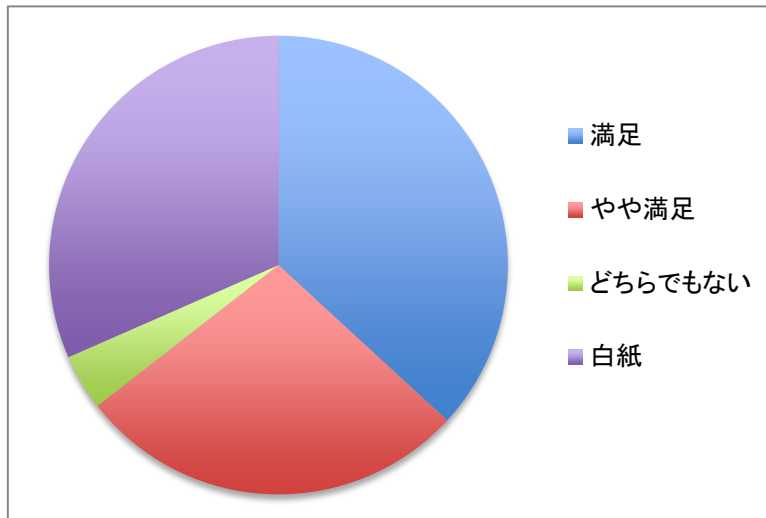
シンポジウム満足度 %

満足	43	56.6
やや満足	17	22.4
どちらでもない	2	2.6
白紙	14	18.4
合計	76	100.0



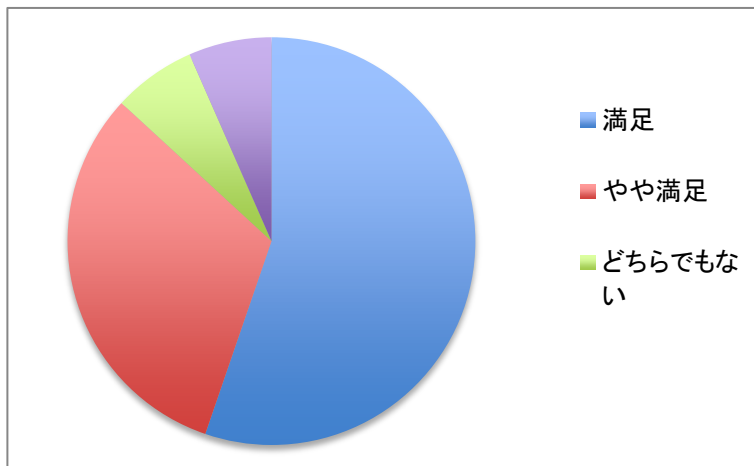
私たちの活動報告満足 %

満足	28	36.8
やや満足	21	27.6
どちらでもない	3	3.9
白紙	24	31.6
合計	76	100.0



全体満足度

満足	42	55.3
やや満足	24	31.6
どちらでもない	5	6.6
白紙	5	6.6
合計	76	100.0



## 意見、感想

ありがとうございました。

シンポジウムでは当事者の話を通して、一番大切な気持ちの面について、多角的に知ることが出来て良かったです。

シンポジウムでは当事者また家族の方のお話が聞け、座長の葉山さん、コメントーターの能知先生と、とても感銘を受ける内容でした。

シンポジウムとても良かったです。

シンポジウムに参加しました。当事者の体験された事、地域や社会に求めること等大変有意義な内容でした。中途障害の人の不安はどこから来るのか...。北欧の人は母親が障害を持つ子を出産しても「不安はない」と答える人が多くいます。日本の場合はそうはいきません。原点は「生まれた時からインクルーシブであること」を思います。教育・保育の現場からインクルーシブであれば中途障害の人の不安な社会はないのでは...。この起点が大切だと改めて思いました。

シンポジウムの内容など包括的な支援の重要性を再認識しました。

シンポジウム座長が素晴らしいコメントーターも適確な方でした。発表者3人の方も実によかった。

たくさんの耳で発したものを聴く感受性を持つ。感じあうコミュニケーションが出来れば本当に素晴らしい事で少しずつ養っていきたいと思います。

ポスター発表は質問できるようにパネルの前にわかる様に演者に立っていて欲しい。

リハビリを受けている方や介護をしている方の生の声を聞いて良かった。施設では聞きにくい意見。

医療・福祉が地域に浸透されるような活動だと思えます。地域への発信をどんどん行って下さい。

岡田様の講演わかり易く良かったです。

経験者からのお話が聞けてとても勉強になりました。ありがとうございました。

経験者の話で大変身に染みました。

言語がリハビリだと感じました。

今後も積極的に研究会の企画をよろしく願います。

今後病院の現場での交流なんかがあるとリハビリの連携となり、患者の予後の改善につながるの施設紹介って必要？活動報告の方が面白いような...

準備、運営などありがとうございました。

色々な情報が聞けたので今後の参考にしたいと思います。

体験を聞きリハビリについての自分の持ち方次第で状況は変えられるということがよく分かりました。ただ自分にとってどのくらい出来るのかという事を考えさせられました。

大変勉強になることばかりで良かったと思います。当事者であり介護事業所としてはこのお話をどのように活用するか課題ですね。

私は6年前に脳出血から開頭手術→急性期→回復リハビリ3ヶ月 回復から3ヶ月でてんかん発症→七沢リハビリにて高次脳にてんかん 左空間無視、注意血管 まさか自分が手帳保持者になるとは思わなかった。てんかんなので精神2級手帳。

第1セミナー素つにディケア(スマイル)の利用者様がいらっしやっただのが良かった。他施設の利用者様も集える場となればよい。

地域の声を聴かないとリハビリに求められるものは見えてきませんね...。当たり前ですよ。

地域医療を考える良い取り組みが多く、大変参考になりました。

当事者の生の声は貴重だと思いました。心のケアもあると安心です。受容はアップダウン有り、支える家族も知識が必要です。景山さんのコーディネートもざっくばらんでまた多様な視点を導き出していると思いました。

当事者の方、家族の方の貴重な体験を聞かせて頂いてありがとうございました。お話の中に大切なエッセンスが色々詰まった内容で考えさせられることが多かったです。

当事者の方もたくさん参加されていて素晴らしいと思いました。

普段聞けない話が聞けてよかったです。

今後フォーラムで希望する内容を教えてください。

廃用リハビリの点数削減を受けてリハビリに求められるものとは？

多くのセラピストの考えている「医学モデル」に当事者は本心から納得・共感しているのでしょうか？障害を持つ人のニーズについて、自立に必要なニーズをできれば「社会モデル」から語ることで当事者や支援者の人を囲んでのフォーラムに期待します。

精神障害者と家族、地域での関わり

在宅医療の方法

災害時のリハビリ職種の役割・地域連携

行政の人ももっと来ると良いのに...

介護者(ケアする人・家族)の支援を考えるもの。

医療職側としては分野間の交流も図りたいので、一般演題の幅(急性期、回復期、維持期etc)がもっとあると良いと思いました。

ポスター展示会場にも少し座ってお茶を飲めたり、話ができるテーブル、イスなどがあれば良いと感じました。

シンポジウム2時間は長い印象です。内容はすばらしいので1時間を2コマで2テーマにすると、より興味深いし集中も出来ると思います。活動報告についてはシンポジウム前に短時間で良いのではないかと思います。

ありがとうございます。次回フォーラムのご案内を頂けたら幸いです。